

K U M A M O T O

YMCA NEWS

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

YMCA December 2015 vol.523

12



体育英語幼児園ラッコクラス スケート活動

- CONTENTS
- YMCAフィランソロピー協会
設立20周年記念式典・講演会
 - YMCA祭
 - YMCA・YWCA合同祈禱会
熊本・大邸YMCA役員協議会
Youth Act Vol.19
むさしフェスタに参加 大川結衣さん、山本涼華さん
REPORT 国際協力青少年育成年末募金キック
オフ集会／防災をテーマに県立大学で講義
 - タラント No.22 「子どもたちの未来と共に」
Topics 益城町総合運動公園／みなみYMCA

わたしと聖句



コリントの信徒への手紙二 5章17節
だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

新しい人生の始まり

この聖句は15才の私の人生を変えました。高校1年の秋、先輩に誘われてはじめて行った教会は、6畳の部屋に土曜日になると高校生が集まり、高

校生集会が開かれていました。その年の12月、イエス様を信じて行こうと決心し、洗礼を受けました。聖書はほとんど解りませんでした。毎日新旧約聖書を1章ずつ読むことにしていました。

洗礼を受けた頃の私は、どうして私ってこうなのかしらと、自分の性格がいやになっていました。もう教会も行きたくない。聖書も読みたくない。そんな気分の時、その夜はちょうど、このコリントの手紙を読む日でした。

17節のところまで来たとき、私の目はこの聖句に釘づけされました。まるでイエス様が語り掛けられたかのよう

に感じたからです。

口語訳聖書には「だれでも」——私でも?「キリストにあるならば、イエス様を信じるならば、その人は新しく造られた者である。」——本当ですか?「古いものは過ぎ去った、見よ、全てが新しくなったのである。」あなたの古い生まれつきの性質は十字架で赦され、新しく生まれ変わったんだよ。

40数年経た今も色あせない御言葉の真実です。

木山キリスト教会
小田眞由美

YMCAフィランソロピー協会 設立20周年記念講演 企業行動の本流と 個人の豊かな人生

今年設立20周年を迎えた「YMCAフィランソロピー協会」。10月27日(火)、ホテルニューオータニ熊本で記念式典が行われました。

祝賀会には会員企業の担当者や関係者、毎年交流を行っているYMCA学院日本語科の卒業生など約50名が出席。また、企業人として、NPO活動家として活躍された関西学院大学客員講師で経営学博士の島田恒さんによる記念講演会も催されました。講演では、「企業行動の本流と個人の豊かな人生」と題し、2つ以上の世界を持って生きる大切さと、そのヒントが語られました。



しま だ ひさし
島田 恒さん

1939年兵庫県生まれ。神戸大学経済学部卒業後、(株)クラレに勤務。1990年同社退職後、島田事務所を設立し、企業・NPOの研修・支援に当たる。現在は関西学院大学客員講師、伊藤ハムCSR委員長、日本YMCA同盟研究所講師を務める。

経済重視の社会が生んだ副作用

「YMCAフィランソロピー協会」が誕生した1995年は、私にとっては阪神淡路大震災の年で、大変な状況だったことを思い出します。協会が発足してこれまで、社会的に意義のある活動が続けられていることに、敬意を表したいと思います。そこで、私たちの社会というのは一体どのような状況なのかを確かめながら、人間のあり方、社会のあり方、そしてフィランソロピー協会に求められているものを考えてみたいと思います。

今年は、戦後70年の節目の年でした。当時の日本は焼け野原で、しかも、石油や鉄や銅などの天然資源にも恵まれていませんでした。まさに一からスタートし、日本の経済は立ち上がろうと努力してきました。1955年には経済白書が「もはや戦後ではない」と宣言するほどに回復し、60年代に入ると所得倍増計画が打ち出され、安定と豊かさを取り戻しました。福祉の充実・雇用の確保のためには何よりも経済が大事だと政府は訴えました。70年代にはGDPはアメリカに次ぐ世界第2位となり、90年代にバブルが弾けるまで成長は続きます。今でも世界に冠たる経済国であることは変わりませんし、経済の重要性は今後もまだまだ続くでしょう。

しかし、私たちが考えなくてはいけないのは、素晴らしい成果の一方で、社会に副作用が出ているのではないかということ。これまで、あまりにも経済に軸足を置いてきたために、様々な副作用が噴出してい

ます。例えば、非正規労働者が増えたことで給与や待遇などの面で格差が生まれましたし、地球温暖化などの環境問題も生まれました。また、企業が利潤を追い求め過ぎたために不祥事が起こり、社会問題にまで発展しています。私たちの社会は「あまりにも経済優先」という状況になっているのではないのでしょうか。社会は、経済・政治・文化・共同で成り立っています。経済は合理効率で動きますが、文化は「人間はどのようなべきか」という価値観を、共同は家族などで見られる「人間の絆」を重視します。

目に見えない大切なもの

南米・ウルグアイの元大統領ムヒカさんは、「貧しさとは、物的に貧しいということより、もっともっとと満たされることのない欲求を持つ人、心貧しい人のことだ」と言っています。そして、

日本の経済発展と努力を評価しながらも「この頃の日本人は、その魂を忘れたちになっているのではないのか」と発言しています。もっと物質的に豊かに、快適にと追い求め過ぎ



て、本当に大切なものを失いつつあるのではないかと警告しているのです。そこで着目したいのがNPOです。日本の経済が停滞した時期を「失われた20年」と呼んでいます。そのような時こそ、目に見えない大切なものを取り戻す時期だと思っています。一つのNPOの例を見てみましょう。アメリカ・アリゾナ州に住む難病の少年の夢を叶えたいという活動をきっかけにマイク・ア・ウィッシュというNPOの活動が始まりました。この運動は全米に、世界に広がっています。難病と闘う子ども一人ひとりの夢を叶えることは、行政ではできないこと。合理効率からは外れるけれど、その子どもや家族、ボランティア、さらにその話題を聞く私たちにも、経済の世界にはない大切なものを教えてくれます。

社会を変え、人を変える

経営学の世界における20世紀最大の貢献者であり、私自身も多くのことを学んだピーター・ドラッカーは、非常に強い信念・哲学を軸に多くの発言を残しています。彼は「自由を束縛することは許されない」「世の中には機能(働き)が必要」と説き、企業、行政、NPOなど、社会の中で自分ができる貢献をすべきだと言います。そのような社会貢献は「自由」に裏付けされていなければ意味がなく、また「自由」とは「責任のある選択」だと言います。彼の発言を踏まえ、私は自分の信念や哲学に裏付けられるものを「タテ軸」、そして仕事、家庭、社会、個人的な趣味などが「ヨ



記念式典・祝賀会には、新旧関係者が一堂に会し、20年の歩みを振り返りました。



9月に開催された交流キャンプの記念品が児童養護施設菊水学園の子どもたちに贈られました。



YMCA学院日本語科の卒業生によるスピーチ。流暢な日本語に、会場からは驚きと讃辞が沸きました。

「軸」となり、バランスを持つてリンクされると考えました。NPOは、ミッション＝自分の使命を「タテ軸」にし、志を同じくする人たちが協働して人間的な絆を持つて「タテ軸」を実現していきます。企業は業績中心のため、バランスを欠く副作用が出てしまっていますが、そこを補完するのがNPOです。NPOが企業と行政と調和を持つて助け合いながら活動することが豊かな社会の実現」と、ドラッカーも提言しています。

また私は、三角形で示される「CSR＝企業の社会的責任」が重要だと思えます。株主・従業員・地域社会への貢献、この一辺が崩れてもだめ。儲かっているからいい、ではなく、この三辺を同時に大きくしていく。人間性が大事にされるから業績も上がり、社会性を大事にするから人間性も業績も上がる、業績が上がるから従業員や社会に還元できる、このような良い拡大の循環をつくっていくことが「企業の社会的責任」だと思っています。

も、社会を変え、人間を変える力があります。また、そのような協会ではなくてはならないと思います。私たちが「タテ軸」をしっかりと持つことによって、私たちの周辺が変わり、会社が変わり、「あまりにも経済優先」と言われる日本や世界の社会を変えていく力につながっていくのではないかと思います。

YMCAファイランソロピー協会は20周年を迎えました。その基礎として、一人ひとりの歩みを豊かに、自らの企業を豊かに、そして社会や人間の意識を変えていくという大きな役割を担っていると思います。協会には、会員一人ひとりの皆さんが、自分や会社、社会を変えている、わずかなではあるかもしれないけれど役に立っているんだという実感を持つてするような活動とフィードバックをしていただきたい。皆さんが、今日から、自分の人生や会社、ファイランソロピー協会で決意と前進をし、NPOである熊本YMCAそのものに対する関わりも深め、それぞれの働きが熊本の地で大きなうねりとなるように祈りたいと思います。

YMCA祭

8月から11月にかけて、各YMCAで祭りやバザーが実施されました。多くのボランティアの協力のもと行われ、今年も大盛況。益金は国際協力や地域活動などに用いられます。



上通チャリティ市場

日時／8月2日(日) 10時～15時
場所／上通YMCA
くまもとゆかた祭と同時開催。外国人講師によるアイスクリーム販売等国際色豊かでした。

サザンフェスタ

日時／9月6日(日) 11時半～15時
場所／みなみYMCA
南警察署と協力して防犯への取組みをアピールするなど、地域の皆さんと楽しく過ごしました。



子どもバザー

日時／11月7日(土)
9時半～11時半
場所／水前寺幼稚園
子どもたちが保護者と一緒に買い物やゲームを楽しみました。

東部祭

日時／11月15日(日)
11時～14時
場所／東部YMCA
秋晴れの中、歌にダンス、美味しい多国籍料理など、盛りだくさんのお祭りでした。



ながみね祭

日時／9月19日(土) 16時～20時
場所／ながみねファミリーYMCA
東ティモール支援等を目的に開催。2500名が楽しくチャリティに参加しました。



前進祭

日時／11月8日(日)
10時半～15時
場所／中央YMCA
広い体育館内で出店とイベントを実施。多くの皆さんと賑やかな時間を過ごしました。



YMCA・YWCA合同祈禱会を開催 希望あれ — Let there be Hope —

11月14日(土)、中央YMCAで「熊本YMCA・YWCA合同祈禱会」が開催され、日本福音ルーテル大江・宇土教会牧師で熊本YMCA常議員を務める立野泰博さんが「希望あれ」をテーマに奨励を行いました。

立野さんは近年、広島・本川小学校の壁、ベリリンの壁、ホロコーストの壁を訪問。「世界に問題が起こるのは様々な壁があるから。私たちの心の中にも壁があり、壁を壊して心を開いた時に真の平和が訪れます。現在でも平和を分断するのがイスラエルとパレスチナの分離壁です。パレスチナには、宗教に関係なく子どもたちが学ぶ小学校があります。学校では創造力や希望を持つことで、平和もつくり出すことができるかと教えています。そのようなことを学ぶ子どもたちの希望は『ヒロシマ』。広島が平和都市として再生したように、

自分たちの町も生まれ変わることができると信じているのです。希望があれば壁は壊れていきます。それが神様の望まれることなのです」とメッセージを送りました。

出席者は、「世界状況が変わる中で真の平和を求めて声を上げる大切さを感じた」「多くの子どもが集うYMCAでも希望が平和につながることを教えてほしい」と感想を述べ、一人ひとりの祈りを重ねました。



熊本・大邱のYMCA役員がユース育成について協議

11月6日(金)～8日(日)、韓国大邱YMCAの役員を招いて協議会を開催。ワークショップや交流会などを通して相互理解を深めた3日間となりました。

阿蘇YMCAで行われたワークショップでは、熊本大学大学院社会文化科学研究科准教授の石原明子さんが「ユース育成の協働と平和を創り出す働き」というテーマで発題。参加者はまず、グループに分かれて「正義」「平



和」のそれぞれからイメージする絵やキーワードを発表。双方の共通点、相違点を考え、正義と平和は両立するかを話し合いました。石原さんは、犯罪学等の被害者と加害者の対話として開始され、韓国では学校教育で実践されている「修復的正義」の考えを提唱。「大切なのは、犯罪を犯した人にも周囲が愛を持って支えること。若い人の成長のためには、正義を用いて裁き、処分するのではなく、対話を通して傷ついた人すべてを受け入れ、心のニーズを満たすために皆で考え、共に歩み出すことです」と話しました。

続いて皆で、平和を創り出すユースの育成に向け、課題や理想的なプラン、日韓協働でできるプロジェクトなどを話し合い、世界の未来につながるユースの育成について考え続けていくことを誓いました。

YOUTH ACT

Vol.19

●むさしフェスタに参加



大川結衣さん(右から3番目)
山本涼華さん(右から4番目)
九州ルーテル学院大学人文学部人文学科こども専攻児童教育コース2年/むさしYMCAアフタースクールリーダー

将来に役立つリーダーシップを養いたい

大川結衣さん

将来の夢は小学校教諭。子どもたちや保護者から信頼される先生を目指しています。子どもと接する機会を得たいと思い、昨年日帰りのキャンプに参加したのがリーダー活動を始めたきっかけです。アフタースクールで子どもと関わることで、コミュニケーション力が高まったと感じています。むさしフェスタでは、リーダー会副会長として1カ月ほどかけて出し物の準備。子どもたちが積極的に商品を販売している姿を見て感動しました！YMCAで、教諭に必要なと感じているリーダーシップを養っていききたいです。

大学での学びを実践できる

魅力ある場所 山本涼華さん

一人ひとりに親身になって接することができ、小学校教諭になるのが目標。YMCAでは大学での学びを実践できるのが楽しいです。会話を通して子どもから教えられることも多く、具体的な指導法も身に付けられます。むさしフェスタでは、担当した輪投げのゲームで、年長の子どもが小さい子どもに優しく接客してくれたことが印象的でした。

自分たちが取り組んだフェスタが募金活動になることを知り、素晴らしい活動だと感じました。YMCAでは、幅広い年齢の方からいろいろな意見を伺えるのも魅力です。

REPORT

国際協力青少年育成 年末募金スタート

■日時/10月29日(木)19時～21時

■場所/中央YMCA



2015年度国際協力青少年育成年末募金スタートに先立ち、キックオフ集会が開催され、約70名が参加しました。熊本YMCA会長の菅正康さんは「皆さんのネットワークを活かしてほしい」、リソース推進委員長の田中俊夫さんは「子どもたちの未来に寄り添う働きをしましょう」と挨拶しました。

募金目標額1600万円が掲げられ、地域YMCAのボランティアの皆さんから意気込みが語られました。

防災をテーマに 県立大学で講義

■日程/10月31日(土)

■場所/熊本県立大学

熊本YMCAは、災害時の支援活動と同時に、防災への意識向上、人と人とのつながりや地域コミュニティづくりに取り組んでいます。

熊本県立大学での次代のリーダー育成事業に協力するため、250名の学生を対象にYMCA職員3名が講義を行いました。これまでの災害支援



活動の経験やキャンプなどで培ったスキルを活かし、避難所生活の体験や身近なものでいかに生活するかなど、見て、聴いて、感じる体験型の講義で、学生たちは熱心に学んでいました。

職員 中村賢次郎

タラント No.22

総主事 岡 成也

子どもたちの未来と共に

先月、富山YMCAに出張の機会が与えられました。僅かな滞在でしたが、立山、黒部を頂に自然と豊富な水資源、満天の星空、朝や夜の神々しさ等、富山の自然に触れ、素晴らしい環境にある県であることを実感しました。富山は教育県で、女性の就業率が高く、勤労者世帯当たりの月額実収入額が多い県(全国平均3位:2012年)であることも知りました。全国45位である熊本県と富山県を比較すると月額17万円程の大きな違いがあることは驚きでした。富山県は、熊本県と同じように、自然に恵まれた地方都市ですが、コンパクトシティとして公共施設、交通機関が整備され、美しく魅了的な街づくりが行われている印象も受けました。

一方でYMCAとして取り組む課題は、子育て支援や進学の問題、人口流出と熊本の抱える問題と似ています。富山YMCAは、課題を抱えた青少年の居場所づくりとして実施しているフリースクールの働きが顕著です。規模が小さいものの、様々な手法を用いながら、積極的に地

域課題に取り組んでいる姿に勇気をもらいました。

地方都市の人口減少は顕著ですが、国全体も2060年には、8674万人と3割減(2010年比)と予測されています。様々な対策を講じながら人口減少に歯止めをかけ目標人口1億194万人とした「地方人口ビジョン」が策定され、出生率の上昇を想定したシナリオがつくられています。

YMCAにおいては、少子高齢、人口減少、貧困・格差など社会の歪に困難を覚える方々に寄り添いながら、「共に支え合う社会づくり」を行っていくためにも企業・諸団体、行政とも連携しながら、これからの未来を創り出す子どもたちの学びと成長の機会を提供し、地域社会に寄与していく力、そのような力を身に付け、一人ひとりの心の平安、平和な世界をつくりだす使命を実践していくことが求められています。

TOPICS 地域YMCAにまつわるトピックを順番にご紹介します。

ZUMBAでクリスマス

益城町総合運動公園



益城町総合運動公園は今年4月から熊本YMCAが指定管理者として運営を行っています。体育館やグラウンド等運動施設の管理や、自主事業として健康応援プログラムや、スポーツの大会などを開催しています。

益城町総合体育館にはメインアリーナ、サブアリーナの他に多目的室があります。

12月12日(土)、普段は多目的室で行われているZUMBA(ラテン系ダンスフィットネスプログラム)を、一番大きなメインアリーナで開催します。クリスマスの雰囲気の中で、ZUMBAを通してたくさんの出会いがありますように。詳細はWEBサイトをご覧ください。

益城町総合運動公園 堺幸代



エイズ孤児支援

みなみYMCA



みなみYMCAでは2011年度よりマンマのモガウンYMCAを通してエイズ孤児支援を行っています。

11月8日(日)に平和月間特別イベントを

開催。逆上がり教室、マット・トランポリン教室、ランニング教室、プール開放を行いました。子どもたちは500円の参加費で楽しく体を動かしてチャリティに協力。逆上がり教室では、初めて逆上がりができたという参加者も。ランニング教室では、足を自然に前に出して走ることができるようになりました。

小さなことの積み重ねから大きな支援につながっています。エイズ孤児支援がもっと広がって子どもたちが貧困から自由になることを願っています。

みなみYMCA 厚地洋子

行事カレンダー 12月

- 3(木) 市民クリスマスコンサート (森都心プラザ)
- 5(土) YMCA学院入学試験④
- 6(日) 国際協力青少年育成年末募金街頭募金 ウインターキャンプ説明会
- 9(水) YMCAフィランソロピー協会幹事会
- 11(金) 生涯学習セミナー「援助する前に考えよう」 in くまもと 講演会(中央)☆
- 12(土) 「援助する前に考えよう」 in くまもと ワークショップ (中央)☆ クリスマス祝会(ながみね) YMCA学院オープンキャンパス⑯
- 13(日) クリスマス祝会(みなみ・むさし) むさしマルシェ(むさし)
- 16(水) 歌声広場わいわい(みなみ)
- 18(金) 歌声広場わいわい(むさし)
- 20(日) クリスマス祝会(中央)
- 23(水) こどもスポーツスクール休講(～1/5)
- 26(土) English Camp for Global Leadership (～29日)
- 31(木) 阿蘇カウントダウンキャンプ(～1/2)

情報ピックアップ

「援助する前に考えよう」inくまもと 講演会・ワークショップのご案内

長年、国際協力・国際教育に関わり、その指導的役割を果たしてきた上智大学の田中治彦さんを招き、講演会およびワークショップを開催いたします。私たちの国際協力援助活動について、あるべき姿勢を学びませんか。

対象:国際協力活動や開発教育に興味・関心のある方

会場:中央YMCA(熊本市中央区新町1-3-8)

■講演会

日時:12月11日(金)16:30～18:00

内容:国際協力・支援の在り方について、様々な事例を通して「持続可能な開発のための教育」について講演いただきます。

参加費:無料

主催:熊本YMCA国際交流委員会

共催:熊本YMCA専門学校運営委員会

■ワークショップ

日時:12月12日(土)10:30～16:30

内容:ワークショップ「援助する前に考えよう」(開発教育協会製作)から4つのワークを実施し、国際協力と地域づくりについて考えます。

参加費:1,000円(資料代・昼食代含む)

※当日ご持参ください。

申込締切:12月8日(火)

主催:公益財団法人 熊本YMCA

お問合せ/熊本YMCA ICR
TEL096-353-6397 FAX096-324-7877

Kumamoto YMCA Network

中央YMCA ☎096-353-6391
YMCA学院 ☎096-353-6393
YMCA学院高等学校 ☎096-353-6391
本部事務局 ☎096-353-6397

みなみYMCA ☎096-378-9370
上通YMCA ☎096-352-2344
東部YMCA ☎096-382-6661
ながみねファミリーYMCA ☎096-385-0676

むさしYMCA
阿蘇YMCA
尾ヶ石保育園
永草保育園
赤水保育園
黒川保育園

☎096-248-6334
☎0967-35-0124
☎0967-32-0213
☎0967-32-0810
☎0967-35-0024
☎0967-34-0402

水前寺幼稚園 ☎096-362-4141
就労支援センター ☎096-312-1333
リフレスおおむた ☎0944-58-7777
御船町スポーツセンター ☎096-282-4111
益城町総合運動公園 ☎096-289-2433

●発行所/公財熊本YMCA
〒860-1873 熊本市中央区新町1-3-8
TEL096-353-6397 代
●編集人/神保 勝己 定価60円 購読料は会費を含む

2015年度
基本聖句

どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天に下る。マタイによる福音書18章19節

熊本YMCAの使命

共に生きる社会
生涯学習の推進
ボランティア活動

地球環境の保全
ウエルネス活動
平和な世界

ホームページ
www.kumamoto-ymca.or.jp
メールマガジン登録
www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail-mail.cgi

